

事業優先順位	6 細事業: 営農支援体制推進事業				整理番号	10						
目的	営農支援の円滑化を図る。											
目標	平成25年度より農業改良普及職員を1名配置し、市内農業者に対する営農指導・支援事業を行う。											
事業実施主体	直営	事業開始年度	平成22年度	根拠法令								
事業費・財源			平成25年度	平成24年度	比較			平成25年度	平成24年度	比較		
	事業費 (決算額) (千円)		3,060	173	2,887	コスト情報・従事職員数	総コスト (千円)		4,585	570	4,015	
	一般財源		2,812	173	2,639		内訳	事業費		3,060	173	2,887
	国府支出金		248	0	248			人件費		1,525	397	1,128
	地方債		0	0	0			公債費		0	0	0
	その他特定財源		0	0	0		一人あたり (円)		41	5	36	
			0				世帯あたり (円)		97	12	85	
			0				参考	職員数 (人)		0.20	0.05	0.15
			0					再任用職員数 (人)		0.00	0.00	0.00
	今後の方向性	販売農家の育成や地産地消の推進、集落営農など本市における安定的・持続的な農業の発展を図るため、効果性の高い支援を継続的に行う。										
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	市内農家							
	A	B	B									



## 細事業：営農支援体制推進事業

### 1. 営農支援体制推進事業

農業改良普及員を配属し、各農家及び各地区への栽培指導、営農相談を実施した。また病害虫にも強く、軽量で比較的栽培が容易でありながら収益性の高い作物を推奨作物として奨励し、栽培講習会の開催や種苗の支給を行った。

#### 推奨作物栽培講習会

場所：市民交流センター（キックス）大会議室A B

- ①アスパラガス：平成26年2月13日開催 参加者59名
- ②ニラ：平成26年2月13日開催 参加者47名
- ③イチジク：平成26年2月21日開催 参加者36名

また、営農支援の円滑化を図るために必要な事務経費、営農支援体制推進事業を推進するために必要となる業務にかかる事務経費の支出を行った。



### 2. 農作物干害対策機器貸与事業

水利組合等の組合員の少数化・高齢化により、水路の維持管理が、十分になされず、干害による農作物被害を未然に防止するため、農作物干害対策機器貸与事業を実施するにあたり、干害対策用灌水ポンプ式を購入した。

機器購入金額 485,850円  
機器貸与実績 1団体



灌水ポンプ